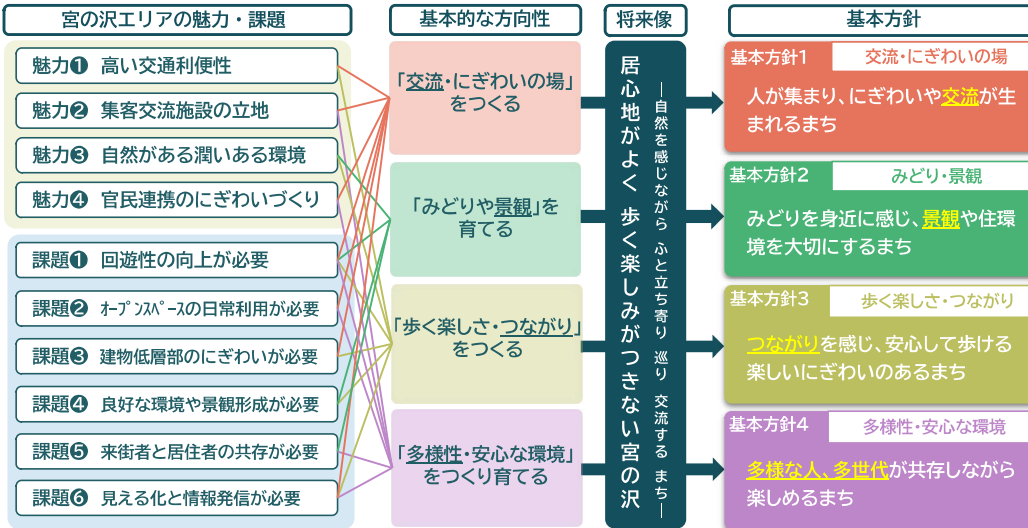


第3章 将来像と基本方針

⇒宮の沢エリアの魅力や課題を踏まえ、まちづくりを進めていく上での基本的な方向性、将来像、基本方針を整理しました。



第4章 基本方針に基づく取組

⇒第3章で整理した基本方針を実現するための主な取組について示します。

4-1 基本方針1：人が集まり、にぎわいや交流が生まれるまち

公園や広場などの公共空間を活かし、だれでも立ち寄れる居場所を増やすことで、人の滞在や交流が生まれ、にぎわいあるまちをつくっていきます。

- | | | |
|-----|---------------------------|---|
| 取組① | オープンカフェやキッチンカーによる飲食店の展開 | 主な場所
・宮の沢ふれあい公園
・ちえりあ前広場、ちえりあ
・手稲記念館
・地下通路
・店舗前等の民地内の空きスペース など |
| 取組② | 店舗・地域住民と連携したマルシェの開催 | |
| 取組③ | オープンスペースなどを活用したチャレンジの場の創出 | |
| 取組④ | 冬を楽しむアクティビティ・アートづくり | |
| 取組⑤ | 公園や広場のさらなる活用 | |

- | | | | |
|-----|---|-----|---------------------|
| 取組① | オープンカフェやキッチンカーによる飲食店の展開 | 取組④ | 冬を楽しむアクティビティ・アートづくり |
| | 店舗前のオープンカフェや、公園や広場のキッチンカーなど飲食店の展開を検討し、飲食をきっかけに人が立ち止まり、会話が生まれ、滞在時間が延びるような交流の場を創出します。 | | |

4-2 基本方針2：みどりを身近に感じ、景観や住環境を大切にすまち

公園や広場、建物まわりの花やみどりを活かしながら、日常の中で自然や季節を感じられる、宮の沢らしい景観や良好な住環境をつくっていきます。

- | | | |
|-----|------------------------|--|
| 取組① | 建物のまわりに花やみどりを配置 | 主な場所
・道路とその沿道
・上追分川や旧中の川
・手稲記念館
・上手稲神社
・その他の歴史文化資産 など |
| 取組② | ゆとりのある建物配置・空間づくり | |
| 取組③ | 水辺に触れられ、集える親水空間づくり | |
| 取組④ | まわりの景観にあった外観・空間デザインづくり | |
| 取組⑤ | 沿道への屋外照明の設置 | |
| 取組⑥ | 地域の歴史資産や大切な資源の維持・活用 | |
| 取組⑦ | 雪のアートによる灯りの創出 | |

- | | | | |
|-----|--|-----|------------------|
| 取組① | 建物のまわりに花やみどりを配置 | 取組② | ゆとりのある建物配置・空間づくり |
| | 住宅や店舗前に花壇やプランターなどを配置し、花やみどりを増やす取組を増やすことで、景観を向上させ、歩く楽しさやまちへの愛着・心地良さを高めています。 | | |

4-3 基本方針3：つながりを感じ、安心して歩ける楽しいにぎわいのあるまち

主要な施設や資源をつなぐ動線を意識し、安全性や回遊性、沿道のにぎわいを高めることで、歩くこと自体が楽しくなるまちをつくらしていきます。

- | | | |
|-----|---------------------|------------------------------|
| 取組① | 建物低層部の開放的な空間づくり | 主な場所
・道路とその沿道
・地下通路 など |
| 取組② | にぎわいを生む店舗等の誘導 | |
| 取組③ | 花・みどり・灯りによる沿道演出 | |
| 取組④ | ベンチやテーブルで一息つける通りづくり | |
| 取組⑤ | 歩行者天国などによる通りの活用 | |
| 取組⑥ | 安全・安心な移動環境の向上 | |
| 取組⑦ | 回遊ルートづくりとまち歩き企画 | |

4-4 基本方針4：多様な人、多世代が共存しながら楽しめるまち

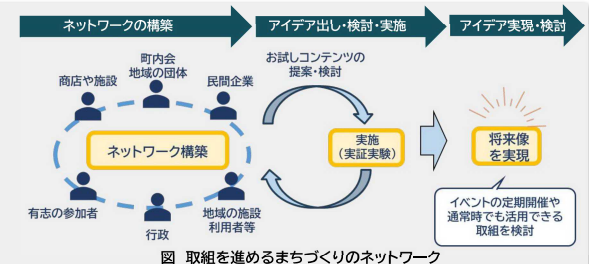
地域住民や来街者、若者から高齢者など多様な人、多世代が、安心して暮らせる・安心して来街できる環境づくりなどにより、誰もが居心地のよいまちをつくっていきます。

- | | | |
|-----|-------------------------|---|
| 取組① | 観光客の適切な案内・誘導、回遊性の向上 | 主な場所
・宮の沢ふれあい公園
・ちえりあ前広場
・道路とその沿道、民地内の空きスペース
・地下鉄駅コンコース、地下通路 など |
| 取組② | 誰もが過ごしやすいユニバーサルの推進 | |
| 取組③ | 居心地のよい公園・広場の維持・整備 | |
| 取組④ | オープンカフェやキッチンカーによる飲食店の展開 | |

第5章 まちづくりの推進

5-1 まちづくりのネットワーク

まちづくりを進めていくには、地域住民、地域団体、事業者、行政が連携・協力することが重要です。これまで実施したワークショップ等の意見でも連携の大切さやまちづくりに関わりたいという意見が多数出てきています。右図のようなネットワークづくりや、繰り返し試行を実施し、最終的な将来像の実現につなげていきます。



5-2 まちづくりを推進する情報発信・情報共有

まちづくりを継続的に進めていくには、取組の内容や進捗をわかりやすく伝え、多くの人が「知る」「関わる」きっかけをつくるのが重要です。多様な媒体を活用した情報発信や、まちづくりに関わる方々との情報共有を大切に、双方向のコミュニケーションを通じて、取組を推進することを目指します。

- | | |
|--------------------|--|
| ①多様な媒体を活用した情報発信 | ウェブサイトやSNS、ニュースレターなど様々な媒体を活用して、宮の沢のまちづくりに関する情報を発信します。
【主な媒体】ウェブサイト・SNS/ニュースレター/チラシ・ポスターなど |
| ②まちづくりに関わる方々との情報共有 | ワークショップやアンケートなどにより、広く意見を募集し、取組に反映することで、相互に情報共有を図ります。
【主な手法】ワークショップ/アンケート/オンライン意見募集など |